

宇都宮市立陽西中学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
学習意欲を高め、学力向上を目指した指導の充実	一人一授業の実施や職員研修の充実を図り、教員一人一人が日々、授業力の向上に努めている。 基礎学力の定着を図るため、帰りの会終了後の10分間を「陽西タイム」とし、国・数・英3教科のドリル学習を本年度も継続実施している。 「学力向上の日」として水曜日には、朝の学習を30分、放課後は「レベルアップ学習」として1時間程度、希望者に対する「学習する場」の提供も継続している。 夏季休業中は7日間の「学習サポート」を実施し、1教科で複数コースの設定をするなど生徒の学力に配慮し指導に当たった。 希望者を対象に、地域協議会と学校の共催で月に1～2回「土曜学習サポート」を実施している。 10月より、3年生の希望者を対象に水曜日以外の平日の放課後に、1時間程度補習を実施した。	・「授業を集中して受けている」の質問に肯定的に回答した生徒の割合が、1・3学年で9割以上ある。同じ質問に於ける2学年の肯定的回答の割合は約86%と、市の平均より約2ポイント低いものの、昨年度の結果より上昇した。 ・「グループなどでの話し合いに自分から進んで参加している」の質問に肯定的に回答した生徒の割合が、1学年では約85%と高く、市の平均を3ポイント以上上回っており、2学年でも約80%と高かった。 ・1学年は「勉強が好きですか」の質問に約55%の生徒が肯定的に回答しており、多くの生徒が意欲的に学習に取り組もうとしている様子が見えがえる。昨年度と同様に同じ質問に於ける3学年の肯定的回答の割合が36%と低く、市の平均を10ポイントも下回った。 ・3学年の学習内容定着度調査の結果を見ると、各教科に於いて、市の平均を上回っていたり、ほぼ同程度の数値まで伸びている領域が多く見られた。基礎学力の定着・学力の向上を目指して取り組んできた成果が徐々に表れてきたといえる。特に社会科は、全領域に於いて市の平均を大きく上回っている。
家庭学習の習慣化に向けた指導の工夫	年度初めに、家庭学習の仕方・「自主学習ノート」の取組についての資料を全生徒に配付し、再度徹底を図った。 「自主学習ノート」は、毎日提出を原則とし、担任が最終チェックを行い、その後の指導に生かしている。	「新しく習ったことは、何度もくり返して練習している」の質問に肯定的に回答した生徒の割合は、1・2学年では約6割で、特に1学年は約64%と高く、市の平均を4ポイント以上上回っている。 「テストでまちがえた問題は、もう一度やり直している」の質問に対する肯定的回答の割合が、1学年は82.7%と高く、市の平均を約6ポイントも上回っている。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

・前年度の取組に改善を加え、今年度は「陽西タイム」、「水曜日の朝の学習・放課後のレベルアップ学習」、「夏休みの学習サポート」、「土曜日の学習サポート」と様々な形で、生徒の基礎学力の定着、学力向上のために取り組んできた。国・県・市の結果からも、少しずつではあるが各教科で学力の向上が見られた。来年度もさらに、これらの運営方法を工夫改善し指導を充実させ、一層の学力の向上を目指していきたい。

・小中連携による取り組みで、全面的に見直しをし、より分かりやすく再編集をした「家庭学習の手引き」を、有効に活用し、更に家庭学習の徹底を図る。継続して「自主学習ノート」の活用法については、小中で連携して指導する。